【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年4月25日(2022.4.25)

【公開番号】特開2022-268(P2022-268A)
【公開日】令和4年1月4日(2022.1.4)
【年通号数】公開公報(特許)2022-001
【出願番号】特願2021-164560(P2021-164560)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３１６Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和4年4月15日(2022.4.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技球を発射可能な発射手段と、
その発射手段により発射された遊技球が到達可能な特定領域と、
その特定領域に到達した遊技球が入球可能な位置に設けられている第１入球手段と、第２入球手段と、
前記第１入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて第１の特典を付与する第１特典付与手段と、
前記第２入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて前記第１の特典とは異なる第２の特典を付与する第２特典付与手段と、
前記特定領域に到達した遊技球が前記第１入球手段に入球可能となり、且つ、前記第２入球手段に入球困難となる第１位置と、前記第１入球手段に入球困難となり、且つ、前記第２入球手段に入球可能となる第２位置と、に少なくとも可変可能な可変手段と、
その可変手段を、第１条件の成立に基づいて前記第１位置へと可変させ、前記第１条件とは異なる第２条件の成立に基づいて前記第２位置へと可変させる可変制御手段と、を備え、
前記可変手段は、１の可変部材で構成されているものであり、
所定の遊技状態において前記特定領域に到達した遊技球が、前記第１入球手段と前記第２入球手段とのいずれにも入球困難となるように制御可能に構成されており、
前記第１位置は、到達した遊技球を第１方向へと流下させることで前記第１入球手段の方向へと遊技球を誘導可能な位置であり、
前記第２位置は、到達した遊技球を前記第１方向とは異なる第２方向へと流下させることで前記第２入球手段の方向へと遊技球を誘導可能な位置であり、
前記発射手段は、第１の発射速度と、その第１の発射速度とは異なる第２の発射速度と、を少なくとも含む複数のうち１の発射速度で遊技球を発射可能な構成であり、
前記第１の発射速度は、遊技盤の左側領域へと遊技球が流入可能となる発射速度であって前記遊技盤の右側領域へと遊技球が流入困難となる発射速度であり、
前記第２の発射速度は、前記遊技盤の左側領域へと遊技球が流入困難となる発射速度であって前記遊技盤の右側領域へと遊技球が流入可能となる発射速度であり、
前記特定領域は、前記第１の発射速度で発射された遊技球も前記第２の発射速度で発射さ

れた遊技球も到達可能な領域であることを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
この目的を達成するために請求項１記載の遊技機は、遊技球を発射可能な発射手段と、その発射手段により発射された遊技球が到達可能な特定領域と、その特定領域に到達した遊技球が入球可能な位置に設けられている第１入球手段と、第２入球手段と、前記第１入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて第１の特典を付与する第１特典付与手段と、前記第２入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて前記第１の特典とは異なる第２の特典を付与する第２特典付与手段と、前記特定領域に到達した遊技球が前記第１入球手段に入球可能となり、且つ、前記第２入球手段に入球困難となる第１位置と、前記第１入球手段に入球困難となり、且つ、前記第２入球手段に入球可能となる第２位置と、に少なくとも可変可能な可変手段と、その可変手段を、第１条件の成立に基づいて前記第１位置へと可変させ、前記第１条件とは異なる第２条件の成立に基づいて前記第２位置へと可変させる可変制御手段と、を備え、前記可変手段は、１の可変部材で構成されているものであり、所定の遊技状態において前記特定領域に到達した遊技球が、前記第１入球手段と前記第２入球手段とのいずれにも入球困難となるように制御可能に構成されており、前記第１位置は、到達した遊技球を第１方向へと流下させることで前記第１入球手段の方向へと遊技球を誘導可能な位置であり、前記第２位置は、到達した遊技球を前記第１方向とは異なる第２方向へと流下させることで前記第２入球手段の方向へと遊技球を誘導可能な位置であり、前記発射手段は、第１の発射速度と、その第１の発射速度とは異なる第２の発射速度と、を少なくとも含む複数のうち１の発射速度で遊技球を発射可能な構成であり、前記第１の発射速度は、遊技盤の左側領域へと遊技球が流入可能となる発射速度であって前記遊技盤の右側領域へと遊技球が流入困難となる発射速度であり、前記第２の発射速度は、前記遊技盤の左側領域へと遊技球が流入困難となる発射速度であって前記遊技盤の右側領域へと遊技球が流入可能となる発射速度であり、前記特定領域は、前記第１の発射速度で発射された遊技球も前記第２の発射速度で発射された遊技球も到達可能な領域である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
請求項１記載の遊技機によれば、遊技球を発射可能な発射手段と、その発射手段により発射された遊技球が到達可能な特定領域と、その特定領域に到達した遊技球が入球可能な位置に設けられている第１入球手段と、第２入球手段と、前記第１入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて第１の特典を付与する第１特典付与手段と、前記第２入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて前記第１の特典とは異なる第２の特典を付与する第２特典付与手段と、前記特定領域に到達した遊技球が前記第１入球手段に入球可能となり、且つ、前記第２入球手段に入球困難となる第１位置と、前記第１入球手段に入球困難となり、且つ、前記第２入球手段に入球可能となる第２位置と、に少なくとも可変可能な可変手段と、その可変手段を、第１条件の成立に基づいて前記第１位置へと可変させ、前記第１条件とは異なる第２条件の成立に基づいて前記第２位置へと可変させる可変制御手段と、を備え、前記可変手段は、１の可変部材で構成されているものであり、所定の遊技状態において前記特定領域に到達した遊技球が、前記第１入球手段と前記第２入球手段とのいずれにも入球困難となるように制御可能に構成されており、前記第１位置は、到達した遊技球を第１方向へと流下させることで前記第１入球手段の方向へと遊技球を誘導可能な位置

であり、前記第２位置は、到達した遊技球を前記第１方向とは異なる第２方向へと流下させることで前記第２入球手段の方向へと遊技球を誘導可能な位置であり、前記発射手段は、第１の発射速度と、その第１の発射速度とは異なる第２の発射速度と、を少なくとも含む複数のうち１の発射速度で遊技球を発射可能な構成であり、前記第１の発射速度は、遊技盤の左側領域へと遊技球が流入可能となる発射速度であって前記遊技盤の右側領域へと遊技球が流入困難となる発射速度であり、前記第２の発射速度は、前記遊技盤の左側領域へと遊技球が流入困難となる発射速度であって前記遊技盤の右側領域へと遊技球が流入可能となる発射速度であり、前記特定領域は、前記第１の発射速度で発射された遊技球も前記第２の発射速度で発射された遊技球も到達可能な領域である。